

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-2-1	事業名	環境保全型農業支援事業
担当	経済局農政部農業支援センター 渡辺昭夫 787 - 2220		
全体計画			
事業内容	畜産農家の良質堆肥を耕種農家へ供給する、耕畜連携システムを構築することを目的として、堆肥投入による「土づくり」の効果を実証し、堆肥利用を促進する。 多忙な畜産農家に代わり家畜排せつ物と剪定枝チップなどを使用した堆肥製造をコントラクター(農作業受託者)により行い、また、多くの耕種農家では堆肥散布機械を所有していないことから、堆肥散布作業においてもコントラクターにより行い、結果として、地域における耕畜連携が図られる。事業参加耕種農家では、参加初年度のみモニターとしてコントラクターを利用して堆肥を散布し、次年度以後は畜産農家と耕種農家の個々の契約により堆肥利用を継続する。		<年度別の事業内容> H19～H22:毎年、新たに事業参加する耕種農家5戸、10haの農地に300tの堆肥を散布
	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)
事業内容	<p>コントラクターを利用した耕畜連携システムの構築 当初の予定通り、1戸の畜産農家の家畜排せつ物を原料としコントラクターが製造した堆肥を、耕種農家に散布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散布量:305.4t ・散布場所:北区篠路地区 ・散布面積:10.18ha ・散布農家戸数:5戸 <p>新技術現地試験圃場の設置 環境保全型農業に対応する局所施肥技術について技術の啓発普及を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施品目:コマツナ、ハウレンソウ ・実施場所:西区、南区 ・実施面積:6a ・実施農家戸数:2戸 		<p>コントラクターを利用した耕畜連携システムの構築 当所の予定通り、今年度、新たに事業参加した農家に前年度と同程度の堆肥を散布した。</p> <p>新規分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散布量:301.8t ・散布場所:北区篠路地区、東区東雁来地区 ・散布面積:10.06ha ・散布農家戸数:5戸 <p>継続散布分との延べ合計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ散布量:607.2t ・延べ散布面積:20.24ha ・延べ散布農家戸数:10戸 <p>新技術現地試験圃場の設置 局所施肥技術の各作期に応じた施肥肥料の検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施品目:コマツナ、ハウレンソウ ・実施場所:西区、清田区 ・実施面積:4a ・実施農家戸数:2戸
	事業場	平成21年度事業内容(予算)	
<p>コントラクターを利用した耕畜連携システムの構築 新たに事業参加する農家に前年度と同程度の堆肥を散布する。 (なお、前年度参加農家は継続して堆肥を散布することとなり、堆肥購入費、散布委託料は畜産農家と耕種農家の契約によるものとし、本事業費によらない。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散布量:300t ・散布場所:東区丘珠地区、白石区東米里地区 ・散布面積:10ha ・散布農家戸数:5戸 <p>継続散布分との延べ合計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ散布量:907.2t ・延べ散布面積:30.24ha ・延べ散布農家戸数:15戸 <p>新技術現地試験圃場の設置 局所施肥技術の各作期に応じた施肥肥料の検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施品目:コマツナ、ハウレンソウ ・実施場所:西区、清田区 ・実施面積:4a ・実施農家戸数:2戸 			
事業規模	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)
	<p>コントラクターを利用した耕畜連携システムの構築 新たに事業参加する農家に前年度と同程度の堆肥を散布する。 (なお、前年度参加農家は継続して堆肥を散布することとなり、堆肥購入費、散布委託料は畜産農家と耕種農家の契約によるものとし、本事業費によらない。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散布量:300t ・散布場所:東区丘珠地区、白石区東米里地区 ・散布面積:10ha ・散布農家戸数:5戸 <p>継続散布分との延べ合計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ散布量:907.2t ・延べ散布面積:30.24ha ・延べ散布農家戸数:15戸 <p>新技術現地試験圃場の設置 局所施肥技術の各作期に応じた施肥肥料の検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施品目:コマツナ、ハウレンソウ ・実施場所:西区、清田区 ・実施面積:4a ・実施農家戸数:2戸 		
事業件数	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)
	<p>コントラクターを利用した耕畜連携システムの構築 新たに事業参加する農家に前年度と同程度の堆肥を散布する。 (なお、前年度参加農家は継続して堆肥を散布することとなり、堆肥購入費、散布委託料は畜産農家と耕種農家の契約によるものとし、本事業費によらない。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散布量:300t ・散布場所:東区丘珠地区、白石区東米里地区 ・散布面積:10ha ・散布農家戸数:5戸 <p>継続散布分との延べ合計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ散布量:907.2t ・延べ散布面積:30.24ha ・延べ散布農家戸数:15戸 <p>新技術現地試験圃場の設置 局所施肥技術の各作期に応じた施肥肥料の検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施品目:コマツナ、ハウレンソウ ・実施場所:西区、清田区 ・実施面積:4a ・実施農家戸数:2戸 		
事業等	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)
	<p>コントラクターを利用した耕畜連携システムの構築 新たに事業参加する農家に前年度と同程度の堆肥を散布する。 (なお、前年度参加農家は継続して堆肥を散布することとなり、堆肥購入費、散布委託料は畜産農家と耕種農家の契約によるものとし、本事業費によらない。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散布量:300t ・散布場所:東区丘珠地区、白石区東米里地区 ・散布面積:10ha ・散布農家戸数:5戸 <p>継続散布分との延べ合計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ散布量:907.2t ・延べ散布面積:30.24ha ・延べ散布農家戸数:15戸 <p>新技術現地試験圃場の設置 局所施肥技術の各作期に応じた施肥肥料の検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施品目:コマツナ、ハウレンソウ ・実施場所:西区、清田区 ・実施面積:4a ・実施農家戸数:2戸 		

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	4-2-1			事業名	環境保全型農業支援事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
堆肥の散布量(累計)	-	305.4t	607.2t	900t	1,200t	1,200t	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 (該当なし)</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力]コントラクター:多忙な畜産農家及び堆肥散布機械を所有しない耕種農家に代わり、堆肥製造、堆肥散布作業を実施 [情報協力]農協:環境保全型農業に意欲的な農家の紹介、事業参加初年度以降の畜産農家と耕種農家の堆肥売買の仲介 コントラクター:良質堆肥製造方法の畜産農家への伝達 [その他の協力](該当なし)</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)			課題				
<p>20年度も、ほぼ予定通り事業を実施することができた。</p> <p>本事業に参加している畜産農家は、自ら意欲的に堆肥を製造し、耕種農家に販売する動きが出て来ている。</p>			<p>・当初予定していた量の剪定枝チップを入手することが困難となっている。</p> <p>また、20年10月には、剪定枝チップを製造していた札幌リサイクル公社が解散し、業務を札幌市環境事業公社に引き継いだことから、チップの性状が大きくなり、利用し難い状況となっている。</p> <p>・畜産農家所有の堆肥舎のみでは、今後耕種農家に販売する分の堆肥を製造・保管する場所が不足することが懸念される。</p> <p>・堆肥散布車を利用するような広い面積を有する耕種農家が少なく、また、面的にまとまりがある地区への本事業の参加がほぼ終了したため、新規に参加希望する耕種農家も地区的なまとまりがなく、散布時に車両の移動等に時間がかかる。</p> <p>・市外化区域に隣接する耕種農家では、散布時の臭気発生等が問題となる。</p> <p>・白石区東米里地区は泥炭土質であり、東区丘珠地区の粘土質と比べ軟らかく、深耕すると泥炭が表面に現れ、有機物の補給となることから、堆肥の投入については消極的である。</p>				
<p>剪定枝チップの確保が困難なことから、剪定枝チップに代わる副資材及び供給先の調査、選定を進めるとともに、平成21年度以降、本事業で耕種農家に販売する分の堆肥を製造、保管する場所を探していく。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		4-2-1			事業名	環境保全型農業支援事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	2,500	2,500	2,500	2,500	10,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	2,500	2,500	2,500	2,500	10,000			
予算	事業費	2,500	2,500	2,489	-	7,489				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0		0			
		市の債	0	0	0		0			
		その他の	0	0	0		0			
		一般財源	2,500	2,500	2,489		7,489			
実績	事業費	2,282	2,236	-	-	4,518				
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0			
		市の債	0	0			0			
		その他の	0	0			0			
		一般財源	2,282	2,236			4,518			
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)					70.1%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
(全体)										
[19年度]										
[20年度]										
[21年度]										